

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第5期末 (2024年5月20日)	
基準価額	4,824円
純資産総額	164百万円
騰落率	7.3%
分配金	0円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第5期末 (2024年5月20日)	
基準価額	7,438円
純資産総額	147億円
騰落率	14.8%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# グローバル・デジタル ヘルスケア株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり) (年2回決算型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年11月21日～2024年5月20日

第5期 (決算日 2024年5月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)／(年2回決算型・為替ヘッジなし)」は、このたび第5期の決算を行いました。

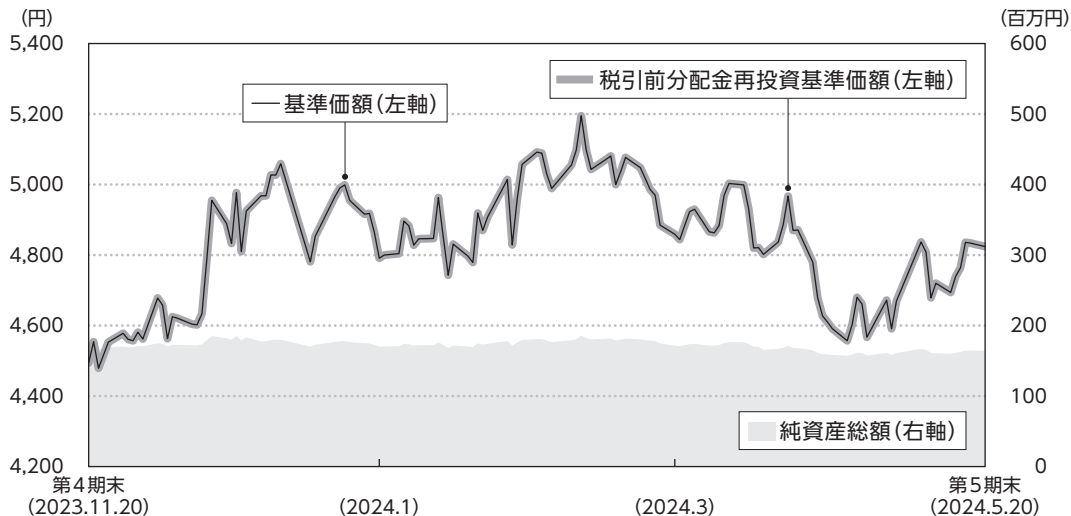
各ファンドは、「グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2023年11月21日～2024年5月20日

## 基準価額等の推移



第5期首	4,494円	既払分配金	0円
第5期末	4,824円	騰落率(分配金再投資ベース)	7.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・ 期初から2月末にかけて、欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能(AI)関連への需要拡大期待等を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価が上昇基調で推移したこと
- ・ 4月下旬から当期末にかけて、米国のインフレ率が鈍化すると期待感などから株価が上昇したこと

### <下落要因>

- ・ 4月上旬から中旬にかけて、米国の利下げ観測が後退したことや中東情勢の悪化等により株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.943%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は4,840円です。
(投信会社)	(23)	(0.465)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.465)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.028	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	( 1)	(0.028)	
有価証券取引税	1	0.026	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.026)	
その他費用	1	0.014	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	( 0)	(0.008)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	49	1.012	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

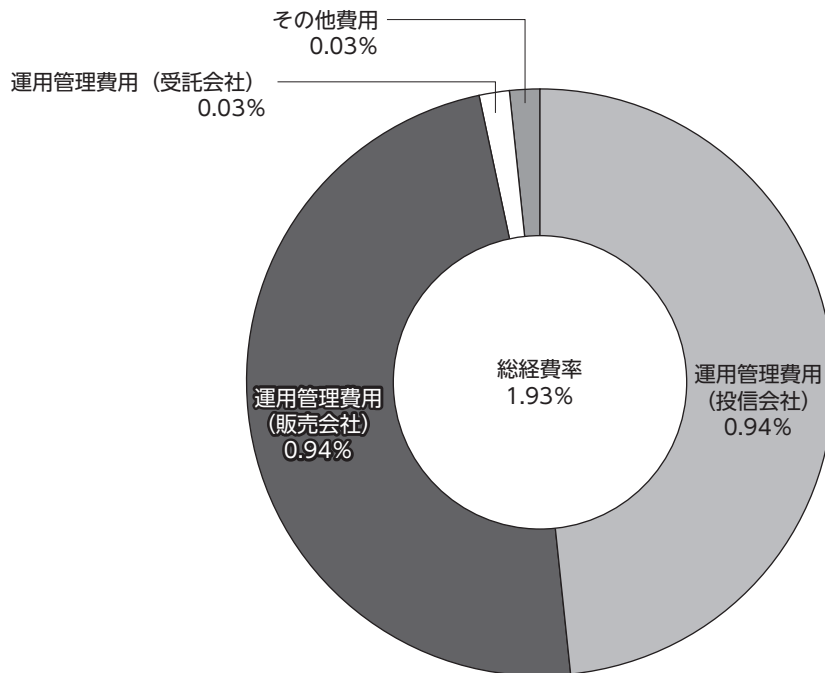
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.93%**です。



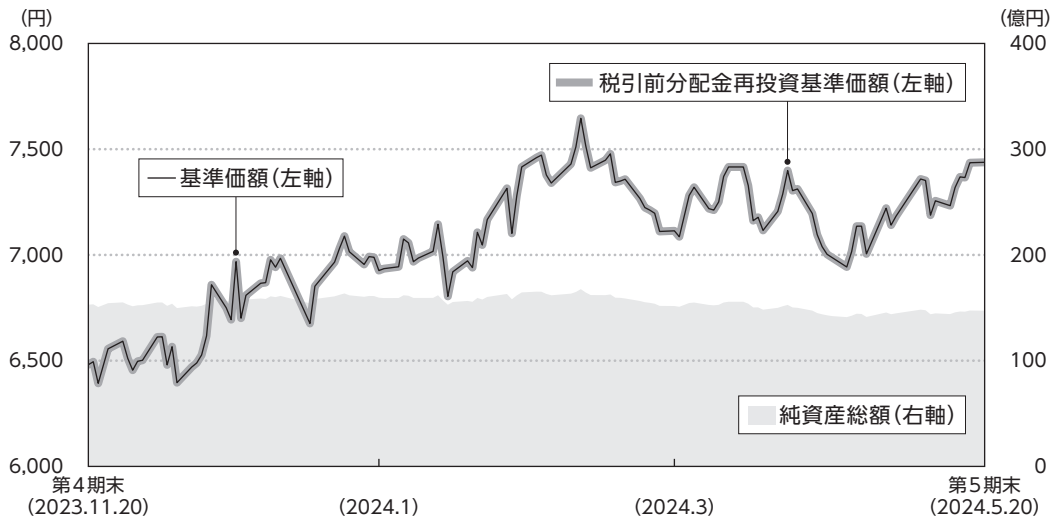
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第5期首	6,481円	既払分配金	0円
第5期末	7,438円	騰落率(分配金再投資ベース)	14.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 期初から2月末にかけて、欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成AI関連への需要拡大期待等を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価が上昇基調で推移したこと
- ・ 年明けから2月末にかけて、能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となったこと
- ・ 4月下旬から当期末にかけて、米国のインフレ率が鈍化するとの期待感などから株価が上昇したこと

#### <下落要因>

- ・ 4月上旬から中旬にかけて、米国の利下げ観測が後退したことや中東情勢の悪化等により株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	67円	0.943%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,062円です。
(投信会社)	(33)	(0.465)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(33)	(0.465)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.028	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.028)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	2	0.026	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.026)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.008)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	71	1.009	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

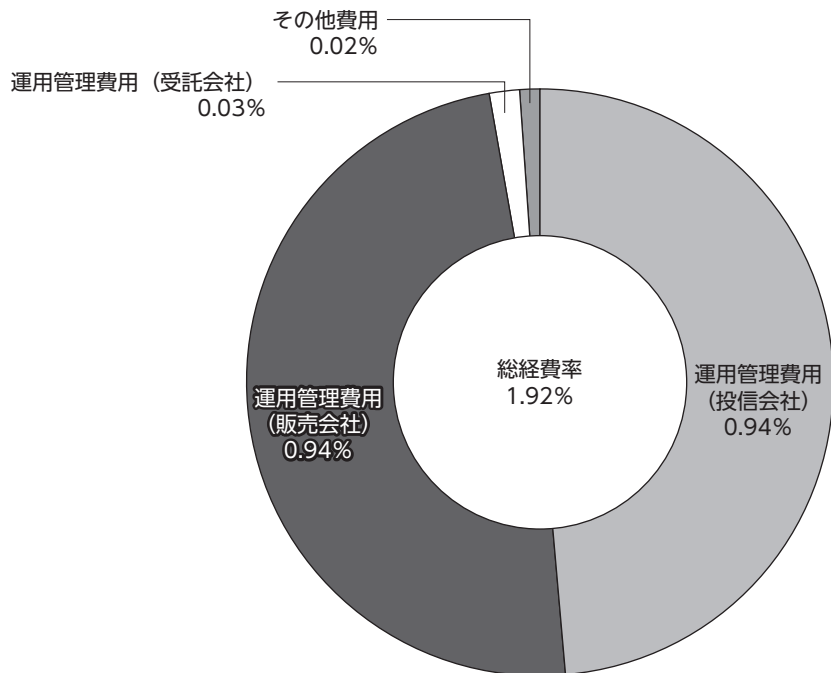
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

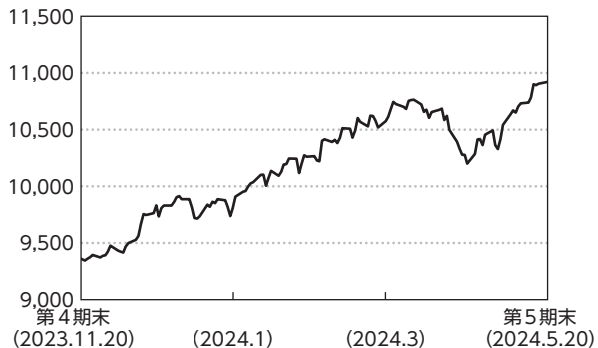
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 投資環境

### 株式市況

【MSCIワールド・インデックス  
(配当込み、米ドルベース)の推移】

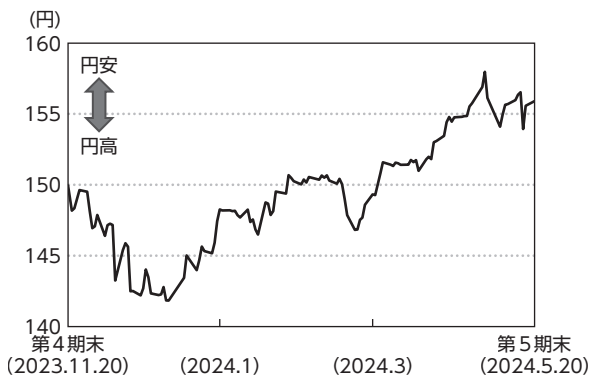


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初以降、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下等により株価は上昇基調で推移しました。特に米大手半導体企業における生成AIの需要拡大による好業績発表などを受けて半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となりました。その後も、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価は上げ幅を広げました。4月に入ると米国の利下げ観測が後退したことや中東情勢の悪化等により株価は下落する場面もありましたが、4月下旬から当期末にかけては、米国のインフレ率が鈍化するとの期待感などから再び上昇しました。

### 為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円レートは期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初より、欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する見方の高まりから米ドル安円高となりましたが、年明け以降は能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となりました。3月前半には米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ観測が高まったことや、日銀のマイナス金利政策解除への期待感が市場で高まったことなどを背景に米ドル安円高となる場面もありましたが、その後は2月の米国における消費者物価指数(CPI)や生産者物価指数(PPI)の伸びが市場予想を上回りインフレの粘着性を示したため、米国の利下げ観測が後退したことから米ドル高円安に転じました。4月末から5月初旬には、日本の財務省による円買い米ドル売りの為替介入により、米ドル安円高となる場面もありましたが、当期末にかけては緩やかに米ドル高円安となりました。



## ポートフォリオ

### ■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《年2回決算型・為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において原則として対円での為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### ■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、高度診断(31.3%)、ヘルスビッグデータ(28.4%)、標的療法(22.3%)、健康寿命の延伸(18.0%)としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品(34.4%)、ライフサイエンス・ツール／サービス(25.1%)、ヘルスケア・テクノロジー(17.7%)としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ(81.1%)、スイス(8.2%)、ドイツ(6.4%)としています。

(注1) 比率は対組入株式等評価額比です。

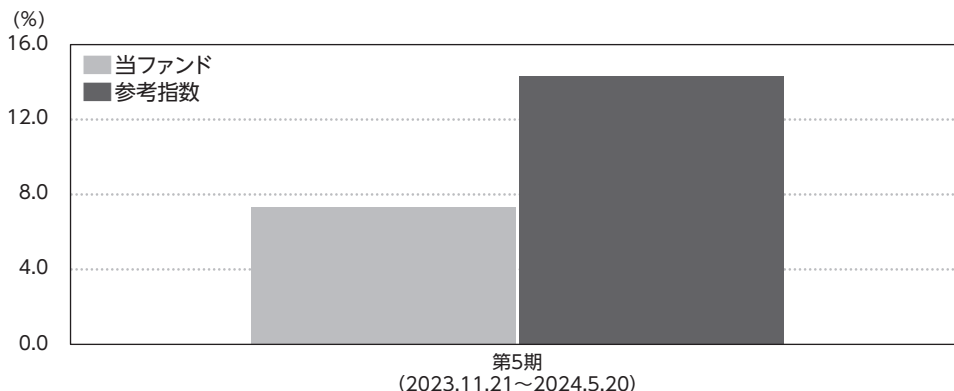
(注2) 成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

(注3) サブセクターはGICS分類(産業)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## 参考指数との差異

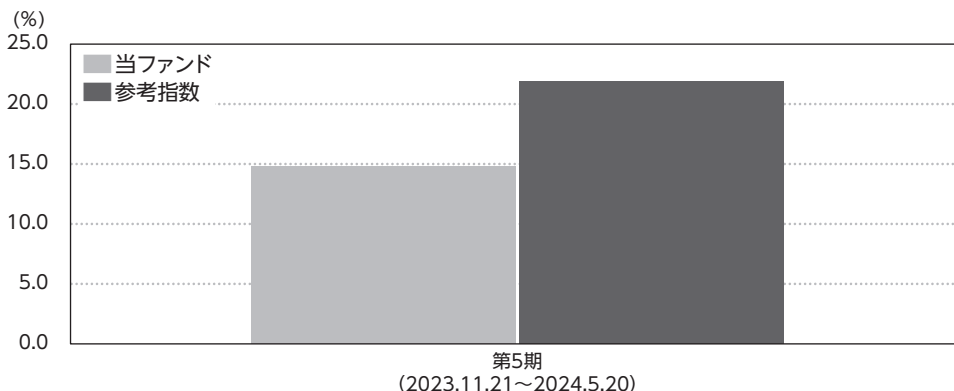
### ■年2回決算型・為替ヘッジあり



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+7.3%となり、参考指数騰落率（+14.3%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

### ■年2回決算型・為替ヘッジなし



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+14.8%となり、参考指数騰落率（+21.9%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注3) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 分配金

### ■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年11月21日～2024年5月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	32円

### ■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年11月21日～2024年5月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	24円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「年2回決算型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において原則として対円での為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## ■マザーファンド

株式市場については、景気やインフレ、それに伴う欧米中央銀行の動向などに敏感な市場環境となっており、当面はこうしたマクロ経済要因により株式市場が上下するとみられます。長引くインフレや金利の高止まりによるコストの増加、先進国における少子高齢化などを背景に、グローバルで見たヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、このような課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進んでいくと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各成長分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率はおのおの20~40%程度を目安として運用を行います。

# ファンドデータ

## グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第5期末 2024年5月20日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	101.4%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

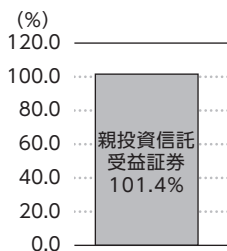
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

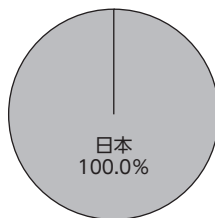
項目	第5期末 2024年5月20日
純資産総額	164,332,268円
受益権総口数	340,690,100口
1万口当たり基準価額	4,824円

(注) 当期間中における追加設定元本額は6,215,340円、同解約元本額は37,078,870円です。

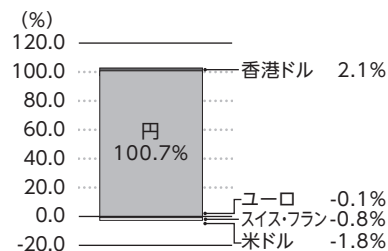
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年5月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

## グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第5期末 2024年5月20日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

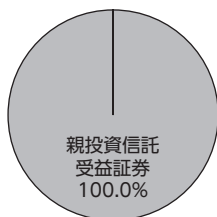
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

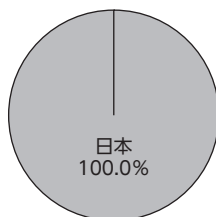
項目	第5期末 2024年5月20日
純資産総額	14,726,180,483円
受益権総口数	19,798,239,714口
1万口当たり基準価額	7,438円

(注) 当期間中における追加設定元本額は652,127,670円、同解約元本額は4,450,812,325円です。

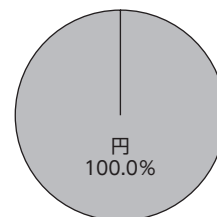
### ■資産別配分



### ■国別配分



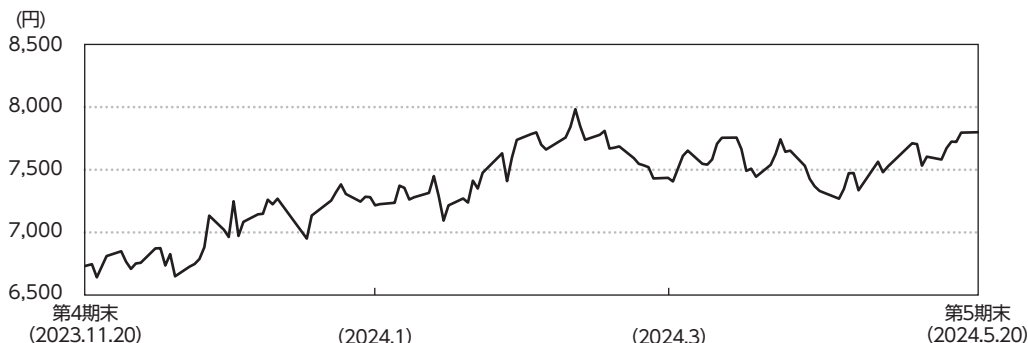
### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年5月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



## ■ 上位銘柄

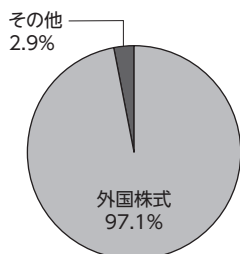
銘柄名	通貨	比率
LANTHEUS HOLDINGS INC	米ドル	6.7%
HALOZYME THERAPEUTICS INC	米ドル	5.1
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	米ドル	4.8
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	4.7
LONZA GROUP AG	スイス・フラン	4.4
DOXIMITY INC-CLASS A	米ドル	4.4
TRANSMEDICS GROUP INC	米ドル	4.3
MEDTRONIC PLC	米ドル	3.9
IQVIA HOLDINGS INC	米ドル	3.7
SIEMENS HEALTHINEERS AG	ユーロ	3.6
組入銘柄数		36

## ■ 1万口当たりの費用明細

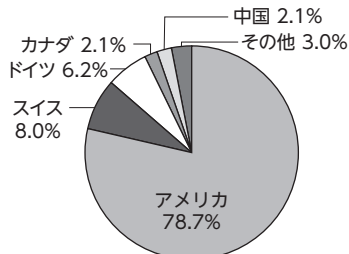
2023.11.21～2024.5.20

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	5

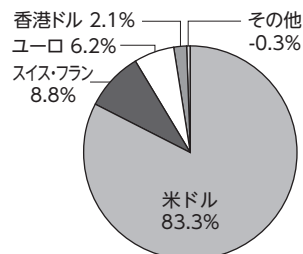
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年5月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
(設定日)	円	円	%	円		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—	49
1期(2022年5月18日)	6,085	0	△39.2	6,085	8,743	△12.6	94.3	252
2期(2022年11月18日)	5,721	0	△6.0	5,721	8,413	△3.8	90.3	241
3期(2023年5月18日)	5,480	0	△4.2	5,480	8,782	4.4	101.5	177
4期(2023年11月20日)	4,494	0	△18.0	4,494	9,160	4.3	97.4	166
5期(2024年5月20日)	4,824	0	7.3	4,824	10,471	14.3	98.4	164

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注6) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式
					組入比率
	円	%		%	%
(期首)2023年11月20日	4,494	—	9,160	—	97.4
11月末	4,581	1.9	9,195	0.4	95.5
12月末	5,059	12.6	9,576	4.5	98.0
2024年1月末	4,850	7.9	9,812	7.1	98.5
2月末	5,099	13.5	10,069	9.9	98.0
3月末	5,003	11.3	10,408	13.6	100.2
4月末	4,672	4.0	10,142	10.7	100.0
(期末)2024年5月20日	4,824	7.3	10,471	14.3	98.4

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。



親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年11月21日～2024年5月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	19,144	13,745	52,790	38,707

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	15,163,216千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,733,631千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年11月21日～2024年5月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年5月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	247,207	213,562	166,557

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は28,532,600千口です。

投資信託財産の構成

2024年5月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	166,557	98.9
コール・ローン等、その他	1,793	1.1
投資信託財産総額	168,350	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月20日における邦貨換算レートは、1米ドル155.91円、1香港ドル19.98円、1スイス・フラン171.46円、1ユーロ169.57円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（22,317,836千円）の投資信託財産総額（22,768,676千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	331,938,461円
コール・ローン等	1,582,622
グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド(評価額)	166,557,053
未収入金	163,798,786
(B) 負債	167,606,193
未払金	165,972,339
未払信託報酬	1,624,521
その他未払費用	9,333
(C) 純資産総額(A-B)	164,332,268
元本	340,690,100
次期繰越損益金	△176,357,832
(D) 受益権総口数	340,690,100口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,824円

- (注1) 期首元本額 371,553,630円  
 期中追加設定元本額 6,215,340円  
 期中一部解約元本額 37,078,870円
- (注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は176,357,832円です。

## 損益の状況

当期（2023年11月21日～2024年5月20日）

項目	当期
(A) 配当等収益	97円
受取利息	97
(B) 有価証券売買損益	12,616,542
売買益	37,118,259
売買損	△ 24,501,717
(C) 信託報酬等	△ 1,633,854
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,982,785
(E) 前期繰越損益金 (繰越欠損金)	△ 87,260,706 (△ 87,260,706)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	△ 100,079,911 ( 735,883) (△ 100,815,794)
(G) 合計(D+E+F)	△ 176,357,832
次期繰越損益金(G)	△ 176,357,832
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) 分配準備積立金 繰越欠損金	△ 100,079,911 ( 736,367) (△ 100,816,278) 363,014 △ 76,640,935

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注5) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用として信託約款に定める計算方法に基づき得た額を1月、4月、7月、10月の年4回に分けて委託者報酬の中から支弁しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	363,014円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	736,367円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,099,381円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	32.27円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
(設定日)	円	円	%	円		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—	1
1期(2022年5月18日)	6,943	0	△30.6	6,943	9,707	△2.9	95.3	13,152
2期(2022年11月18日)	7,230	0	4.1	7,230	10,219	5.3	94.6	16,603
3期(2023年5月18日)	6,988	0	△3.3	6,988	10,789	5.6	98.4	16,805
4期(2023年11月20日)	6,481	0	△7.3	6,481	12,530	16.1	97.7	15,292
5期(2024年5月20日)	7,438	0	14.8	7,438	15,274	21.9	97.1	14,726

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注6) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式 組入比率
(期首)2023年11月20日	6,481	—	12,530	—	97.7
11月末	6,497	0.2	12,414	△0.9	97.4
12月末	6,984	7.8	12,618	0.7	98.0
2024年1月末	6,991	7.9	13,399	6.9	98.2
2月末	7,516	16.0	14,056	12.2	97.7
3月末	7,416	14.4	14,635	16.8	97.9
4月末	7,221	11.4	14,792	18.1	98.5
(期末)2024年5月20日	7,438	14.8	15,274	21.9	97.1

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年11月21日～2024年5月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	626,037	452,712	4,463,521	3,305,191

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	15,163,216千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,733,631千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年11月21日～2024年5月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年5月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	22,722,573	18,885,088	14,728,480

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は28,532,600千口です。

投資信託財産の構成

2024年5月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	14,728,480	98.6
コール・ローン等、その他	203,852	1.4
投資信託財産総額	14,932,332	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月20日における邦貨換算レートは、1米ドル155.91円、1香港ドル19.98円、1スイス・フラン171.46円、1ユーロ169.57円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（22,317,836千円）の投資信託財産総額（22,768,676千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年5月20日現在）

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,932,332,946円</b>
コールドローン等	141,791,809
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド(評価額)	14,728,480,712
未収入金	62,060,425
<b>(B) 負債</b>	<b>206,152,463</b>
未払解約金	59,779,687
未払信託報酬	145,908,722
その他未払費用	464,054
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>14,726,180,483</b>
元本	19,798,239,714
次期繰越損益金	△ 5,072,059,231
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>19,798,239,714口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>7,438円</b>

- (注1) 期首元本額 23,596,924,369円  
 期中追加設定元本額 652,127,670円  
 期中一部解約元本額 4,450,812,325円
- (注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は5,072,059,231円です。

## 損益の状況

当期（2023年11月21日～2024年5月20日）

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>9,569円</b>
受取利息	11,478
支払利息	△ 1,909
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>2,015,591,071</b>
売買益	2,277,425,230
売買損	△ 261,834,159
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 146,373,088</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>1,869,227,552</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 3,802,519,425</b>
(分配準備積立金)	( 8,545,240)
(繰越欠損金)	(△ 3,811,064,665)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>△ 3,138,767,358</b>
(配当等相当額)	( 7,187,595)
(売買損益相当額)	(△ 3,145,954,953)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>△ 5,072,059,231</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>△ 5,072,059,231</b>
追加信託差損益金	△ 3,138,767,358
(配当等相当額)	( 7,319,719)
(売買損益相当額)	(△ 3,146,087,077)
分配準備積立金	40,767,317
繰越欠損金	△ 1,974,059,190

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注5) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用として信託約款に定める計算方法に基づき得た額を1月、4月、7月、10月の年4回に分けて委託者報酬の中から支弁しています。



## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	32,222,077円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	7,319,719円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	8,545,240円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	48,087,036円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	24.29円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

# 各ファンドの概要

		年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2021年11月19日～2044年11月18日		
運 用 方 針	<p>グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p>		
		<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	日本を含む各国の株式	
運用方法	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>		

# グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド

## 運用報告書

### 第 5 期

(計算期間：2023年11月21日～2024年5月20日)

運用方針	①主に、日本を含む各国の株式を主要投資対象とし、優れた技術・サービスにより、従来のヘルスケア産業のあり方を根本から変革し、健康・医療を取り巻く社会課題の解決をリードすると期待されるデジタルヘルスケア企業に投資を行います。	主要運用対象	日本を含む各国の株式
	②運用にあたっては、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用および外国為替予約取引の指図に関する権限を除きます。）を委託します。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

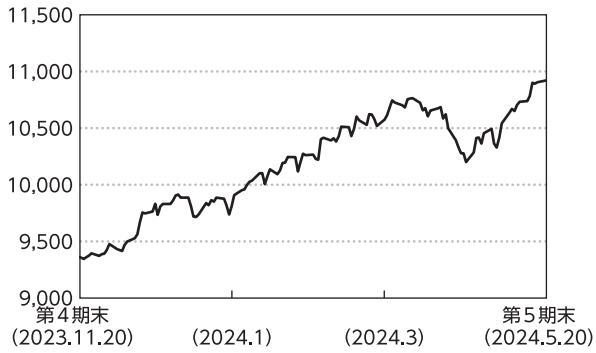
# 運用経過

2023年11月21日～2024年5月20日

## 投資環境

### 株式市況

【MSCIワールド・インデックス  
(配当込み、米ドルベース)の推移】



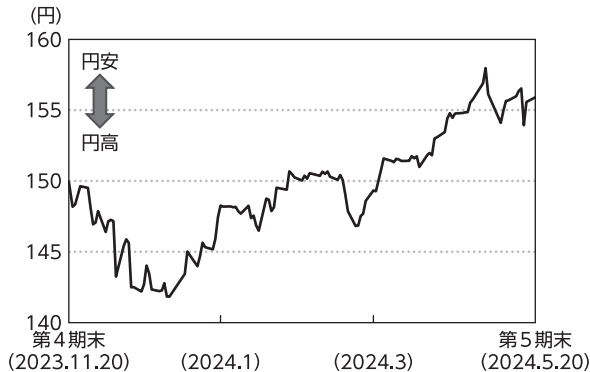
(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下等により株価は上昇基調で推移しました。特に米大手半導体企業における生成AIの需要拡大による好業績発表などを受けて半導体関連銘柄が市場をけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となりました。その後も、生成AI関連へのさらなる需要拡大期待や業績動向を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価は上げ幅を広げました。4月に入ると米国の利下げ観測が後退したことや中東情勢の悪化等により株価は下落する場面もありましたが、4月下旬から当期末にかけては、米国のインフレ率が鈍化するとの期待感などから再び上昇しました。

### 為替市況

【米ドル/円レートの推移】

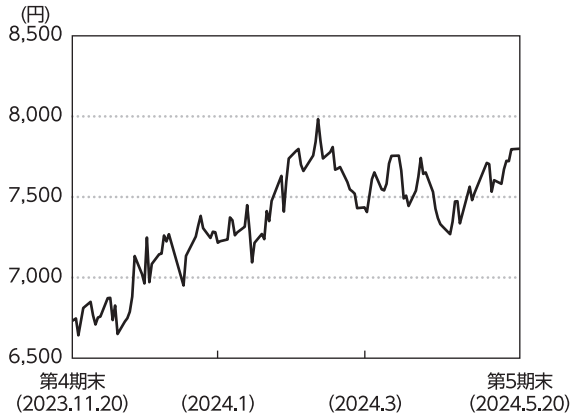


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円レートは期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初より、欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する見方の高まりから米ドル安円高となりましたが、年明け以降は能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となりました。3月前半には米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測が高まったことや、日銀のマイナス金利政策解除への期待感が市場で高まったことなどを背景に米ドル安円高となる場面もありましたが、その後は2月の米国における消費者物価指数（CPI）や生産者物価指数（PPI）の伸びが市場予想を上回りインフレの粘着性を示したため、米国の利下げ観測が後退したことから米ドル高円安に転じました。4月末から5月初旬には、日本の財務省による円買い米ドル売りの為替介入により、米ドル安円高となる場面もありましたが、当期末にかけては緩やかに米ドル高円安となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 期初から2月末にかけて、欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能（AI）関連への需要拡大期待等を手がかりにした世界的な大型株への物色の動きなどから株価が上昇基調で推移したこと
- ・ 年明けから2月末にかけて、能登半島地震により日銀の金融政策正常化が遅れるとの見方や米早期利下げ観測の後退などから米ドル高円安基調となったこと
- ・ 4月下旬から当期末にかけて、米国のインフレ率が鈍化すると期待感などから株価が上昇したこと

#### <下落要因>

- ・ 4月上旬から中旬にかけて、米国の利下げ観測が後退したことや中東情勢の悪化等により株価が下落したこと

## ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、高度診断（31.3%）、ヘルスビッグデータ（28.4%）、標的療法（22.3%）、健康寿命の延伸（18.0%）としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品（34.4%）、ライフサイエンス・ツール／サービス（25.1%）、ヘルスケア・テクノロジー（17.7%）としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ（81.1%）、スイス（8.2%）、ドイツ（6.4%）としています。

(注1) 比率は対組入株式等評価額比です。

(注2) 成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

(注3) サブセクターはGICS分類（産業）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## 参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の基準価額騰落率は+15.9%となり、参考指数騰落率（+21.9%）を下回りました。

これはヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

（注1）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 今後の運用方針

株式市場については、景気やインフレ、それに伴う欧米中央銀行の動向などに敏感な市場環境となっており、当面はこうしたマクロ経済要因により株式市場が上下するとみられます。長引くインフレや金利の高止まりによるコストの増加、先進国における少子高齢化などを背景に、グローバルで見たヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、このような課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進んでいくと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各成長分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率はおのおの20~40%程度を目安として運用を行います。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	株式 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	10,000	—	—	100
1期(2022年5月18日)	7,007	△29.9	9,707	△ 2.9	95.3	19,597
2期(2022年11月18日)	7,367	5.1	10,219	5.3	94.6	25,040
3期(2023年5月18日)	7,188	△ 2.4	10,789	5.6	98.4	25,199
4期(2023年11月20日)	6,731	△ 6.4	12,530	16.1	97.7	22,595
5期(2024年5月20日)	7,799	15.9	15,274	21.9	97.1	22,253

- (注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。  
 (注2) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。  
 (注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。  
 (注4) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式 組入比率
	円	%		%	%
(期首)2023年11月20日	6,731	—	12,530	—	97.7
11月末	6,752	0.3	12,414	△ 0.9	97.4
12月末	7,269	8.0	12,618	0.7	98.0
2024年1月末	7,288	8.3	13,399	6.9	98.2
2月末	7,847	16.6	14,056	12.2	97.7
3月末	7,755	15.2	14,635	16.8	97.9
4月末	7,564	12.4	14,792	18.1	98.5
(期末)2024年5月20日	7,799	15.9	15,274	21.9	97.1

- (注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年11月21日～2024年5月20日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)	0.028% (0.028)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.026 (0.026)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.008 (0.008)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	5	0.062	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（7,371円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。



売買および取引の状況

2023年11月21日～2024年5月20日

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	アメリカ	百株 9,947	千米ドル 25,444	百株 15,992	千米ドル 56,845
	香港	8,970	千香港ドル 17,661	2,430	千香港ドル 4,678
	スイス	146	千スイス・フラン (△ 25)	129	千スイス・フラン 2,728
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ ドイツ	861 -	3,469 -	44 441	178 2,424

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( )内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年11月21日～2024年5月20日

株式

銘柄	買付			銘柄	売付		
	株数	金額	平均単価		株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
LONZA GROUP AG	14	943,949	64,389	SHOCKWAVE MEDICAL INC	27	1,316,634	48,418
EVOLENT HEALTH INC - A	151	628,388	4,152	CATALENT INC	122	1,091,411	8,878
QIAGEN NV	86	572,722	6,645	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	5	509,786	86,521
LANTHEUS HOLDINGS INC	66	532,079	8,056	DOXIMITY INC-CLASS A	115	471,699	4,098
EXACT SCIENCES CORP	51	497,588	9,620	PHREESIA INC	127	463,967	3,647
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	16	436,562	26,533	IQVIA HOLDINGS INC	12	447,148	37,046
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	897	334,289	372	AZENTA INC	46	425,108	9,100
OMNICELL INC	63	294,250	4,606	SIEMENS HEALTHINEERS AG	44	402,287	9,102
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	25	293,781	11,303	TRANSMEDICS GROUP INC	32	383,139	11,850
HALOZYME THERAPEUTICS INC	34	178,338	5,165	VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	11	345,793	31,282

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2024年5月20日現在

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
10X GENOMICS INC-CLASS A	568	648	1,623	253,061	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ABCELLERA BIOLOGICS INC	9,740	8,230	2,995	467,068	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCOLADE INC	1,055	891	666	103,990	ヘルスケア機器・サービス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	1,880	1,589	573	89,459	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AZENTA INC	467	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	559	472	1,163	181,327	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CATALENT INC	1,229	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CRISPR THERAPEUTICS AG	1,070	733	4,123	642,949	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DEXCOM INC	378	221	2,903	452,676	ヘルスケア機器・サービス
DOXIMITY INC-CLASS A	3,112	2,220	6,222	970,192	ヘルスケア機器・サービス
EVOLENT HEALTH INC - A	—	1,356	3,128	487,746	ヘルスケア機器・サービス
EXACT SCIENCES CORP	508	931	4,691	731,520	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXSCIENTIA PLC	2,383	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	356	538	4,407	687,250	ヘルスケア機器・サービス
GUARDANT HEALTH INC	1,473	1,604	4,069	634,447	ヘルスケア機器・サービス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,553	1,616	7,227	1,126,854	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HEALTH CATALYST INC	2,877	2,431	1,689	263,451	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	287	242	2,696	420,333	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	379	444	6,895	1,075,052	ヘルスケア機器・サービス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	956	808	2,119	330,409	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IQVIA HOLDINGS INC	346	225	5,210	812,307	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LANTHEUS HOLDINGS INC	741	1,203	9,590	1,495,219	ヘルスケア機器・サービス
MAXCYTE INC	4,223	4,158	1,941	302,770	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	774	654	5,622	876,633	ヘルスケア機器・サービス
NEVRO CORP	1,431	1,424	1,624	253,201	ヘルスケア機器・サービス
OMNICELL INC	706	1,178	3,588	559,451	ヘルスケア機器・サービス
OUTSET MEDICAL INC	2,523	4,735	1,709	266,551	ヘルスケア機器・サービス
PHREESIA INC	2,883	1,948	4,736	738,397	ヘルスケア機器・サービス
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	3,648	2,537	2,390	372,675	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RENALYTIX AI PLC-ADR	1,327	1,134	58	9,073	ヘルスケア機器・サービス
SCHRODINGER INC	2,206	2,148	4,890	762,404	ヘルスケア機器・サービス
SHOCKWAVE MEDICAL INC	230	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス

グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド

銘柄		期首(前期末)		当期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>		百株	百株	千米ドル	千円	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		172	113	6,772	1,055,936	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRANSMEDICS GROUP INC		771	448	6,189	964,962	ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A		292	182	3,827	596,785	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	53,119	47,074	115,349	17,984,163	
	銘柄数<比率>	34	31	-	<80.8%>	
<b>(香港)</b>				千香港ドル		
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC		9,705	16,245	22,840	456,352	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	9,705	16,245	22,840	456,352	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<2.1%>	
<b>(スイス)</b>				千スイス・フラン		
LONZA GROUP AG		-	108	5,746	985,309	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVARTIS AG		586	495	4,623	792,680	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	586	603	10,369	1,777,989	
	銘柄数<比率>	1	2	-	<8.0%>	
<b>(ユーロ/オランダ)</b>				千ユーロ		
QIAGEN NV		-	816	3,442	583,787	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	-	816	3,442	583,787	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<2.6%>	
<b>(ユーロ/ドイツ)</b>						
SIEMENS HEALTHINEERS AG		1,331	889	4,703	797,638	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	1,331	889	4,703	797,638	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<3.6%>	
ユーロ計	株数・金額	1,331	1,706	8,146	1,381,425	
	銘柄数<比率>	1	2	-	<6.2%>	
合計	株数・金額	64,742	65,630	-	21,599,931	
	銘柄数<比率>	37	36	-	<97.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2024年5月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	21,599,931	94.9
コール・ローン等、その他	1,168,745	5.1
投資信託財産総額	22,768,676	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月20日における邦貨換算レートは、1米ドル155.91円、1香港ドル19.98円、1スイス・フラン171.46円、1ユーロ169.57円です。

(注2) 外貨建純資産 (22,317,836千円) の投資信託財産総額 (22,768,676千円) に対する比率は98.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月20日現在)

項目	当期末
(A)資産	23,342,638,349円
コール・ローン等	988,659,272
株式(評価額)	21,599,931,409
未収入金	754,047,668
(B)負債	1,089,545,781
未払金	994,296,410
未払解約金	95,249,371
(C)純資産総額(A-B)	22,253,092,568
元本	28,532,600,334
次期繰越損益金△	6,279,507,766
(D)受益権総口数	28,532,600,334口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,799円

(注1) 期首元本額 33,567,040,879円  
 期中追加設定元本額 1,044,648,217円  
 期中一部解約元本額 6,079,088,762円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド  
 (年1回決算型・為替ヘッジあり) 74,631,268円  
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド  
 (年1回決算型・為替ヘッジなし) 9,359,318,257円  
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド  
 (年2回決算型・為替ヘッジあり) 213,562,064円  
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド  
 (年2回決算型・為替ヘッジなし) 18,885,088,745円

(注3) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は6,279,507,766円です。

損益の状況

当期 (2023年11月21日~2024年5月20日)

項目	当期
(A)配当等収益	57,463,036円
受取配当金	48,131,101
受取利息	9,344,004
支払利息△	12,069
(B)有価証券売買損益	3,338,893,776
売買益	5,489,925,562
売買損△	2,151,031,786
(C)信託報酬等△	1,972,429
(D)当期損益金(A+B+C)	3,394,384,383
(E)前期繰越損益金△	10,971,414,367
(F)追加信託差損益金△	291,603,257
(G)解約差損益金	1,589,125,475
(H)合計(D+E+F+G)△	6,279,507,766
次期繰越損益金(H)△	6,279,507,766

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## 指数に関して

### ■ ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。